

和地ひとみレポート No.190

H28 年第 1 回市議会定例会がスタート

H28 年度市長施政方針表明に込められた市長の思いは

■H28 年第 1 回市議会定例会がスタート

…2月24日からH28年度第1回市議会定例会が始まりました。毎年、第1回定例会の初日には、市長による翌年度の「市長施政方針表明」が必ず行われます。今年の市長施政方針は「H28年度第1回市議会定例会の開会にあたりまして、市政に対する初心を申し述べ、市議会ならびに市民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます」から始まり、前段としては大まかに「国の経済状況に対する認識」「国の政策に対する認識と期待」「日本の長期的な課題に対する認識」「東大和市の来年度の市政運営の基本的な考え」を示し、続いて「重要施策5点の主な事業の概要」および「『第四次基本計画』の施策体系に沿って行う主な施策について」において、来年度実施される主な事業に関して述べています。最後に締め括りとして「H28年度予算編成の方針と編成のポイント」が市長の考え方として述べられるという構成になっています。市長施政方針演説終了後、その内容が紙で配布されますが、毎年その演説内容はA4で20ページ近く、時間にして1時間弱となります。この内容については、市報にも掲載されますし、市のホームページ内でも確認できます。また、市議会のホームページからは、約1週間後から市長が実際に議会議場上で表明している様子が映像と音声で確認できます。…施政方針演説が行われた24日午前中は、多くの傍聴者が訪れていたことから、市長の施政方針への関心の高さがわかりました。

■今年の施政方針表明の特徴は

…尾崎市長は昨年4月の改選後、所信表明演説を行いませんでした。近隣市の市長は当然やっているのに、です。私は選挙という形で次の任期についての負託を市民から受けた際には、所信表明を行うのが常識だと思っていました。しかし東大和市においては省略が“慣例”とのことでした。この件について私は納得がいかず、何度も市長部局に「やるべきだ」と訴えましたが、最終的には“慣例”どおり、所信表明演説は省略されました。

…よって、今回の施政方針表明は昨年4月の改選以来、初めて市長が議会の中で演説をする機会となりました。その中には当然、市政運営に対する市長の思い、1期目での経験からくる新たな考えなどが盛り込まれると期待しましたが、全体的には「第四次基本計画」や「実施計画」といった既存の計画に書かれている事業の内容。また、東京都からの補助金などで新たに組み込むことになった事業の内容などが述べられただけという印象でした。

…昨年、第1回市議会定例会で行われた「H27年度市長施政方針」の中で市長は冒頭「私が市長に就任して、間もなく4年の任期が終了いたします。市長就任以来、東大和市の将来を見据え、防災対策の強化、観光事業の推進、健康増進、子育て支援、教育環境の整備等の施策に取り組んでまいりました。また、将来の新たな財政負担に備え、基金の積み立て等により財政基盤の強化を図るなど、財政の健全化にも取り組んでまいりました。H27年度は、この4年間の実績を踏まえまして、東大和市のさらなる発展を目指し、さまざまな課題の解決に向けて積極的に取り組んでまいります。」と再選への意欲も感じられる思いを述べ、予算編成の説明の際には「私の所信表明における6つの柱からなる施策を優先し、予算の編成を進めてまいりました。」と自身の政策を推し進めているという文言を盛り込んでいました。

…この昨年の施政方針表明の内容を比較すると、今回行われたH28年度市長施政方針には、このような市長ご自身の思いを自分の言葉で語るという部分は全くありませんでした。

…市が実施する事業は、先に述べたように様々な計画に沿って行われます。よって、乱暴な言い方をすれば、市長が誰であろうと、計画は進められるということです。しかし、その事業内容や取り組み姿勢は、市のリーダーである市長の思いや考えで変わってくると思います。そのような思いは市役所の雰囲気、職員の姿勢にも影響を与えます。よって、施政方針には、市長の思いや取り組み姿勢、考えを盛り込んで欲しいというのが私の率直な感想です。思いを伝えることが市議会、市民の理解と協力が得る基本だと思います。

■代表質問

…毎年、施政方針表明の内容に対しては「代表質問」が行われます。これは、各党派ならびに無所属の議員が行うものです。持ち時間制で党派の場合は議員数×10分を使用して党派の代表が質問をし、無所属議員は各人10分の中で質問することとなっています。毎定例会で行われる一般質問は、初めに壇上時間が決められており、党派の場合は党派の所属上で質問したことに対し、市長が答弁し、その後、詳細について一問一答方式で質問、答弁といったやり取りができるのですが、代表質問に関しては、壇上で質問をしたことに対し、市長が答弁するだけで、その後、再度、質問することはできない（裏面に続く）



「1回限りのやり取り」がルールとなっています。
また、質問事項については、施政方針表明終了後から翌日の正午までに質問内容を通告（市長部局に事前に提出すること）しないと、代表質問はおこなえません。
…今回の施政方針表明に対しても、全会派、全無所属議員が施政方針表明に対する代表質問を行いました。

■市長の思いを聞いたが・・・

…持ち時間 10 分の中、私も代表質問をしました。その中では、学校のトイレ洋式化についてや、市のプロモーションビデオ作成についてなど個別の事業に対する考えなども聞きましたが、質問の最後に、市長の思いや考え、取り組み姿勢について確認しました。その内容と答弁は以下のとおりです。

最後に総論として、市政運営における市長のお考えや思いをお聞かせいただきたい。H27 年度の施政方針では、冒頭に市長は市政運営に対する意思や考え、姿勢を述べたが、今回は述べなかった。そこで、まず、H28 年度の予算編成の優先施策に対する市長の思いやお考えをお聞かせいただきたい。また、昨年 4 月の改選後、市長は所信表明をされておらず、現在、市のホームページには初当選をされた際の所信表明が掲載されている。よって、この初当選の際の所信表明が、現在も有効だと思われる。この初当選された際の所信表明で市長は市政運営に対する 5 つの姿勢を示されている。そこで、H28 年度ならびに今任期中もこの姿勢に変更はないかお聞かせいただきたい。また、所信表明で示された「持続可能な行財政運営への転換と定着」について市長は『市民に分かりやすい透明な行財政運営、市長等の理事者の給与削減、市長公用車の廃止などを選挙で訴えてきた。これらは、厳しい財政状況の中で、より持続性のある行財政運営への転換・定着に視点を置いたものであり、そのための息の長い工夫が地域経営には必要だ。』と表明されており、具体的な施策を示された。私は一部の施策には賛同できないが、今後も「厳しい財政運営は続いていく」と施政方針でも述べられたので、これらの施策をやってみた効果と今後の対応についてお聞かせいただきたい。

【答弁】H28 年度予算の優先施策に対する考えは、日本全体で少子高齢化社会が進行し、人口減少社会が到来することが予測される中、今後、これまで以上に長期的な視点に立って行政運営を行っていく必要があると考えている。当市も、将来的には人口の減少が見込まれており、持続可能な施政運営の実現を図るためには、限られた財源の中、将来を見据えて施策に取り組んでいく必要があると考えている。H28 年度予算編成では「日本一子育てしやすいまちづくり」を進める取り組みなどを優先施策としたところだが、これら優先施策の実

施により、多くの市民の皆様にとって「住みやすい、活気あるまち」となり「人と自然が調和した生活文化都市 東大和」の将来都市像の実現に向けて努めてまいりたい。

次に、所信表明における施政運営に対する姿勢についてだが、市政運営に対する 5 つの基本姿勢については、H23 年に行った所信表明と変わるところはない。

施策としては、2 期目については 7 つの施策の柱を掲げ「日本一子育てしやすいまちづくり」を重点施策とするとともに、1 期目の「住みよい、活気のあるまちづくり」、「環境にやさしいまちづくり」、「福祉の行き渡ったまちづくり」、「地域力・教育力の向上」などの 6 つの施策と合わせて施策を推進していく。

次に「持続可能な行財政運営への転換と定着」の効果と今後の対応についてだが、持続可能な行財政運営として、市長車の廃止や理事者の給与削減を行うとともに、市税等の収納対策、民間活力の導入、ネーミングライツなど有料広告の拡大、基金への積立、第 4 時行政改革大綱推進計画に基づく取り組みなどを着実にやってきた。これらにより、社会保障関係経費の増加など厳しい財政状況の中で、財源の確保等に効果があったと考えている。今後については、第 5 次行政改革大綱を策定するなど、持続可能な行財政運営のための取り組みを継続的に行っていく。

…私の代表質問に対する市長答弁は、「市長自身の言葉」と感じる部分はほとんどありませんでした。特に H23 年の選挙で全面的に訴え、公約としていた「市長等の理事者の給与削減」と「市長公用車の廃止」に関して、私は賛同できませんでした。給与を削減するというのは、一見、惹きつける内容ですが、私は給与は仕事への対価、仕事の評価という側面があるもので、給与にふさわしい仕事をする、給与以上の成果を出すというのが本質ではないかと感じていたからです。これは、能力に関係なくできることです。昨年の再選後、この二つの公約は続けられず、元に戻されています。また、公用車廃止期間は実際には一般職員の手を煩わせたり（職員がマイカーに乗せたり、業務用の車で送迎していた）、交通事故などの関係で課題がありました。現在は市長のための専属のドライバーが、必要な時に出勤する体制になっています。

…「その立場になってみないと分からないこと」は、誰にでも、どこにでもあります。最初の選挙で訴えたことは、やってみたらあまり良くなかった。だから 2 期目からは止めたと真摯に答弁していただいたかったです。それによって、責任を追究する人は少ないのではないのでしょうか。それ以上に評価されたから再選されたのだと思います。やる時は大声で言い、やめるときは、知らせずにやめるというのは、真面目さ、市民感覚が売りの市長に相応しくないと感じました。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】



1970 年 東京都北区生まれ。父の転勤で 1 歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を 2 年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。／「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。／「人を活かす」経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報などに従事。2011 年 4 月、初当選。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員

和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木 3-274-2-102